

主編 許金生

近代日本在華報刊通信社
調查史料集成

(一九〇九—一九四一)

綏遠書局

主編 許金生

(第七冊)

近代日本在華報刊
調查史料集成
（一九〇九
四一）
信社

綫裝書局

图书在版编目 (C I P) 数据

近代日本在华报刊通信社调查史料集成: 1909 ~
1941: 全 10 册: 汉、日 / 许金生主编. -- 北京: 线
装书局, 2014.10

ISBN 978-7-5120-1534-0

I . ①近… II . ①许… III . ①中日关系—国际关系史
—史料—近代—汉、日 IV . ① D829.313

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2014) 第 214882 号

近代日本在华报刊通信社

调查史料集成 一九〇九—一九四一

主 编 许金生

责任编辑 赵 鹰

出版发行 线装书局

地 址 北京市西城区鼓楼西大街四一号

邮 编 一〇〇〇〇九

电 话 六四〇四五二八三

网 址 www.xzhbc.com

北京祖龙古籍胶印装订厂

二一〇〇千字

三〇一

二〇一四年十月第一版第一次印刷

六〇套

七五〇〇元 (全十册)

ISBN 978-7-5120-1534-0



9 787512 015340 >

第七册

一九二八年.....一

一九二九年.....一七五

一九三〇年.....三〇五

一九二八年

MAR 15 1929

A. 3. 5. 0
(9474)



昭和三年十一月印刷

外國に於ける新聞（上卷）

（亞細亞、阿弗利加、大洋洲の部）

外務省情報部編纂

凡 例

一、本調査書は在外各公館の調査報告に基いて編纂したものである。

一、調査の時期は昭和二年末現在を基準と爲すものなるも在外公館報告の遅速に因り必ずしも一定しない。

但しその後上梓迄に判明した變化は出來得る限り加除又は訂正することとした。

一、本調査書は前年迄は支那(附大連、香港)に於ける新聞及通信に關する調査を以て一冊としたが本年から地理的區分に從ひ亞細亞、阿弗利加及太平洋諸國に於ける新聞と歐米諸國に於ける新聞との上、下二卷に分けた。

從て本冊には支那のみならず其の他の亞細亞諸國及歐米諸國の屬領の大部、土耳古、埃及、暹羅等に於けるものも本冊に收めた。

一、我國人の發行に係る新聞雜誌は外國人經營のものとは別箇の見地から觀察すべき事情があるので卷末に附録として收録することとした。



外國に於ける新聞（上卷）

目次

支那

一、奉天省	一
奉天	一
安東	四
牛莊	四
遼陽	五
新民府	五
鐵嶺	五
撫順	五
通化	五
鄭家屯	五
洮南	六
通遼	六
四平街	六
二、吉林省	七
吉林	七

長春	八
哈爾濱	八
間島	一四
局子街	一四
頭道溝	一四
百草溝	一五
琿春	一五
農安	一五
三、黑龍江省	一六
齊齊哈爾	一六
滿州里	一六
黑河	一六
四、河北省	一七
北平	一七
天津	三四
五、山東省	四二

一、湖北省	九	南	一〇、江西省	蕪湖	安慶	九、安徽省	杭州	八、浙江省	無錫	蘇州	南京	上海	七、江蘇省	鄞州	六、河南省	開封	芝罘	青島	濟南
八·一	七·九	七·九	七·九	七·八	七·七	七·七	七·六	七·六	七·五	七·四	七·二	四·九	四·九	四·八	四·八	四·六	四·四	四·四	四·二

赤峯	一八、熱河省	綏遠	一七、綏遠省	雲南	一六、雲南省	汕頭	廣東	一五、廣東省	廈門	福州	一四、福建省	重慶	成都	一三、四川省	長沙	一二、湖南省	宜昌	沙市	漢口
一一·五	一一·五	一一·四	一一·四	一一·二	一一·二	一〇·九	一〇·〇	一〇·〇	九·七	九·三	九·三	九·一	九·〇	九·〇	八·八	八·八	八·七	八·六	八·一

附大 連……………一一六

西伯利

概 説……………一一七

一、ノヴォシビルスク……………一一八

二、オムスク……………一一九

三、トムスク……………一一九

四、イルクーツク……………一一九

五、チ タ……………一一九

六、ウエルフネ、ウーヂンスク……………一二〇

七、スレーチェンスク……………一二〇

八、ブラゴウエシチェンスク……………一二一

九、ハバロフスク……………一二一

一〇、ニコラエウスク……………一二四

一一、浦湖斯德……………一二四

一二、アレキサンドロフスク……………一二五

一三、ペトロバウロフスク……………一二六

香 港

概 説……………一二七

香 港……………一二八

比律賓群島

一、マニラ……………一三二

二、其 他……………一三五

海峽殖民地及馬來聯邦

一、新嘉坡……………一三六

二、彼 南……………一三八

三、マラツカ……………一三九

四、クオーラ、ランボー……………一三九

五、イツボ……………一三九

暹 羅

概 説……………一四一

盤 谷……………一四一

佛領印度支那

概 説……………一四四

一、河 内……………一四五

二、海 防……………一四七

三、西 貢……………一四七

英領印度

概 説……………一五一

一、カルカタ	一五一
二、アラハバード	一五三
三、デリー	一五三
四、ラホール	一五三
五、ラクノウ、バトナ、アムリツサー、 カウンボール、ダッカ、ベシヤワー ル、クエタ、ラワルピンデー、ペナ レス、ガヤ、ディブルガー、ダーシ リン	一五四
六、孟買	一五五
七、カテチ	一五八
八、アーメダバード	一五八
九、マドラス	一五八
一〇、コロンボ	一五九
一一、蘭貫	一六〇
一二、其他	一六二
蘭領東印度	
一、パタグキア	一六三
二、パンドン	一六四
三、スマラン	一六四

四、スラバヤ	一六五
五、其他	一六六
土耳其	
概説	一六七
一、君府	一六八
二、アンゴラ	一七〇
三、スミルナ	一七一
四、其他	一七一
埃及	
概説	一七三
一、カイロ	一七八
二、アレキサンドリヤ	一八一
三、坡西士	一八三
南阿聯邦	
一、ケープタウン	一八四
二、其他	一八四
濠洲	
概説	一八五
一、カンベラ	一八七

二、シドニー	一八七
三、メルボルン	一八九
四、ブリスベーン	一九〇
五、アデレード	一九〇
六、パース	一九一
七、ホバート	一九一

新西蘭及南太平洋諸島

概 説

一、ウエリントン	一九二
二、オークランド	一九三
三、クライストチャーチ	一九三
四、南太平洋諸島	一九三

比律賓群島

一、マニラ	一九四
二、セブ	一九七
三、イロイロ	一九八
四、ザムホアンガ	一九八
五、ダヴァオ	一九八

附 録

本邦人經營の新聞雜誌

支 那

一、奉天省	二〇一
二、吉林省	二一〇
三、黑龍江省	二一六
四、河北省	二一七
五、山東省	二二〇
六、江蘇省	二二二
七、福建省	二二四
八、廣東省	二二五
九、湖北省	二二五
附 大 連	二二六

西 伯 利

浦潮斯德	二二七
------	-----

香 港

香 港	二二七
-----	-----

南 洋

一、新嘉坡	二二八
二、バタビヤ	二二八

支那

一、奉天省

奉天

奉天に於ける漢字新聞の主なるものは盛京時報、東三省公報、東三省民報、奉天商報等である。

(イ) 盛京時報 邦人が經營し東三省最古の漢字新聞であり常に正論を持して事實の真相を報じ日支官民間に多大の信用を博し従て販路も逐年増加し斷然他の追従を許さない状態であつたが昭和二年六月偶々同紙の論説が當時の奉天官憲の忌諱に觸れ一時東三省内支那人間の購讀を禁止され又郵送をも差し止められる等の壓迫を受けたが昭和三年二月に至り解禁され爾後依然優勢の地位を保持して居る模様である。

(ロ) 東三省公報 十餘年來奉天漢字新聞界の權威たり官憲の機關紙たる觀があるが所論比較的穩健にして其の信用勢力共に盛京時報に亞ぐ。

(ハ) 東三省民報 從來は排日的記事が多かつたが近來は漸次穩健となつた。

(ニ) 奉天商報 奉天總商會の支持を受け排日的記事多く専ら日本の對滿政策其他の諸施設に關する翻譯の記事が多い。

名 稱	主義系統	持 主	主筆又ハ記者	備 考
盛京時報	不偏不黨	社長 佐藤 篤 編輯 慶應義塾出身 明治三十二年時事新報上海特派員として渡支以來三十年上り大正十五年五月	主筆 菊池 貞二 編輯 東亞同文書院出身 編輯長 大石 智郎 東亞同文書院出身	光緒三十二年(明治三十九年)十月創刊、日刊八頁、發行部數二萬五千、不偏不黨を標榜し支那人間に根強き信用と地盤を有す。

支那

一